

人権を尊重し

平等で明るい社会のために

8月は「人権尊重社会をめざす県民運動強調月間」です。

あなたにとつて人権とは？ 身近な人権問題に目を向けましょう。

人権を考えよう

人権とは、誰もが生まれながらに持つておられる自分らしく幸せに生きる権利のことです。

しかし、私たちの周りには「偏見」「いじめ」、「差別」といった人権にかかわるさまざまな問題があります。尊重されるべき人権について、真剣に考えてみましょう。

高齢者を大切にする心を育てよう

高齢者に対する身体的・経済的虐待が問題になっています。高齢者の社会参加を進めることが重要です。

高齢者への尊敬と感謝の気持ちを忘れず、高齢者の喜びや生きがいを大切にしましょう。

障害者を完全参加と

障害者の自立と社会参加を阻んでいる障壁バリアがあります。「ノーマライゼーション」（等しく生きる社会の実現）の理念を実現しよう。

私たちは、社会のバリアだけでなく、心のバリアもなくし、障害者も安心して暮らしづらい地域社会をつくりましょう。

子どもの人権を守ろう

児童虐待事件や子どもが被害者となる重大な犯罪が多発しています。いじめなどの気持ちを理解し尊重しながら、子どもが自立できるよう、成長を温かく見守りましょう。

同和問題

結婚・就職などの際、依然として差別事象が発生しています。同和問題の解決は国民的課題です。

「自分には関係ない」と思わないで、差別の実態など、同和問題に対する正しい理解と認識を深め、「差別をしない・させない・許さない」心を持ちましょう。

そのほかの人権問題

ほかにも、外国籍のかた・HIV感染者・ハンセン病患者などへの差別や、宗教・職業や出身などで差別問題が起こります。最近では、犯罪の被害に遭ったかた、罪を犯したかた、少年犯罪の被害者、その家族に対するマスコミの不適切な報道、インターネットで個人を中傷するプライバシーの侵害などの人権問題があります。

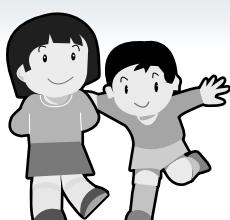
えせ同和行為とは、「同和問題は怖い問題」というような誤った意識をつけ込んだ、同和問題を口実とする不当な要求や不法な行為などをいいます。例えば、同和問題の解決を装って、企業などに高額な書籍の購入や不当な寄付金贊助金を強要することです。このような行為は、同和問題に対する誤った意識を植え付け、啓発活動の効果を一挙に覆すものです。

同和問題解決への大きな障害要因であるえせ同和行為に対しては、私たち一人ひとりが断固として拒否するなど、毅然とした態度で臨むことが重要です。

えせ同和行為の排除のために

イベントのお知らせ

人権啓発フェスティバル 「ヒューマンフェスタ2008さいたま」



日時：8月28日(木) 10:00

場所：大宮ソニックシティ

内容：

10:00 人権啓発資料展示

〈国際会議室〉

10:30 講演＆ライブ

山本コータロー & ほぼウィークエンド
〈小ホール〉

13:00 人権講演会

石原良純 氏（俳優・気象予報士）ほか
〈大ホール〉

参加費：無料（申し込み不要）

「人権を考える集い」

日時：11月26日(水) 13:30

場所：リリア メインホール

講師：平岩弓枝 氏（作家）

参加費：無料（申し込み不要）